

平成 29 年度補正予算などを審査しました。（常任委員会）

第 1 回定例会では、平成 29 年度の補正予算など 37 件の議案と陳情 2 件の審査を行いました。ここでは、各委員会での審査の経過と結果をお知らせします。

総務産業委員会

- 開催日 2月28日（補正予算）／3月1日
- 審査議案等と審査結果
 （可決すべきもの）【全会一致】 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号
 議案第 15 号 議案第 19 号 議案第 20 号 議案第 21 号 議案第 22 号
 議案第 24 号 議案第 25 号 議案第 26 号 議案第 28 号
 【賛成多数】 議案第 4 号
 （採択すべきもの）【賛成多数】 陳情第 30-2 号
- 出席を求めた部署 消防本部総務課・予防課、秘書課、企画政策課、行政経営課、総務課
 資産経営課、財政課、税務課、収税課、市民活動課、市民課、環境保全課
 農政課、商工観光課、農業委員会事務局、会計課、議会事務局
- 質疑・意見等 福祉部と保健衛生部を統合する目的・意義について【議案第 4 号】（行政経営課所管）
 違反対象物の違反内容の公表手順について【議案第 21 号】（消防本部予防課所管）
 つつじ公園管理委託料の減額理由について【議案第 29 号】（商工観光課所管）

教育福祉委員会

- 開催日 2月28日（補正予算）／3月1日
- 審査議案等と審査結果
 （可決すべきもの）【全会一致】 議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号
 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 29 号 議案第 30 号
 議案第 31 号 議案第 32 号 議案第 36 号
 【賛成多数】 議案第 27 号
- 出席を求めた部署 社会福祉課、子ども福祉課、高齢福祉課、岩間支所福祉課、保険年金課、健康増進課
 市立病院、学務課、生涯学習課、公民館、図書館、スポーツ振興課
- 質疑・意見等 介護医療院やサテライト型指定看護小規模多機能型居宅介護事業所の特性について【議案第 9 号】
 サービス担当者会議における意見照会及び市の関与について【議案第 11 号】
 特定世帯および特定継続世帯について【議案第 12 号】
 居宅サービス計画における訪問介護の回数について【議案第 27 号】
 敬老会事業の今後の見通しについて【議案第 29 号】
 居宅介護サービス給付費負担金を増額する事業内容について【議案第 32 号】（以上、高齢福祉課所管）
 消費税改正に伴う使用料の考え方について【議案第 14 号】（市立病院所管）
 地域子育て支援事業費補助金の減額理由について【議案第 29 号】（子ども福祉課所管）
 特別支援学級の増級に関する工事内容について【議案第 29 号】（学務課所管）

建設土木委員会

- 開催日 2月28日（補正予算）／3月2日
- 審査議案等と審査結果
 （可決すべきもの）【全会一致】 議案第 16 号 議案第 17 号 議案第 18 号 議案第 23 号 議案第 29 号
 議案第 33 号 議案第 34 号 議案第 35 号 議案第 37 号 議案第 38 号
 （趣旨採択すべきもの）【全会一致】 陳情第 30-3 号
- 出席を求めた部署 水道課、下水道課、建設課、管理課、都市計画課、まちづくり推進課
- 質疑・意見等 公園施設の敷地面積の制限について【議案第 17 号】（都市計画課所管）
 繰越明許費の総額と昨年の比較や傾向について【議案第 29 号】（建設課所管）
 県水受水費が減少したことによる財務諸表での表現方法について【議案第 37 号】（水道課所管）

総額526億1,397万6千円

平成30年度予算を審査 —予算特別委員会—

今期定例会に、一般会計・特別会計・企業会計を合わせ、前年度と比較すると約34億6千万円の減となる平成30年度予算が市長から提案されました。それを受け議会では、予算特別委員会（各常任委員会から3人、計9人で構成）を設置し審査を行いました。審査は、部単位で課ごとに説明を受け、質疑応答を行いました。ここでは、審査の過程での主な質疑や意見などについて紹介します。

■ 一般会計

「市長公室」	台湾交流事務所設置に係る予算内訳について。ユニバーサルデザインまちづくり推進事業の意識醸成の意図は何か。かさまミュージアムバス運行実証後の運行拡大の見通しはあるのか。笠間版 CCRC 推進事業の全体的なスケジュールについて。など
「総務部」	公共建築物中期資産管理計画策定に係る委員構成について。公有財産のデータ管理体制について。など
「市民生活部」	高齢者運転免許自主返納支援報償費の内容について。高齢者ごみ袋の製造業務の経緯と利用状況を踏まえた高齢者以外の対応の考えはあるのか。など
「福祉部」	保育支援配置による保育士負担軽減の具体的内容は何か。アルソックとの実証実験による成果について。など
「保健衛生部」	ウォーキングポイント事業に係る体組成計・血圧計の設置が保健センター1ヶ所とする理由は何か。また公共施設以外の公共の道路・公園における受動喫煙対策はどう考えているのか。後期高齢者への人間ドック健診補助金は応募状況に対応した予算は確保されているのか。など
「市立病院」	人事交流事業県負担金および地域医療研修推進業務負担金の具体的内容は何か。
「産業経済部」	笠間の栗を考える会への補助金支出を増加する主な内容は何か。また新栗まつり会場を変更する場合の地域住民への対応について。など
「都市建設部」	空家対策に係る空家活用補助金の内容について。笠間稻荷周辺まちづくり拠点整備事業に係る遊歩道の整備計画内容について。など
「教育委員会」	みなみ学園義務教育学校の形態が施設分離型から施設一体型へ方針転換した理由は何か。小学校の特別教室にもエアコンを設置する考えはあるのか。文化財保護費測量業務の成果物はどのような形で公表されるのか。など
「上下水道部」	営業費用の原水および浄水費が昨年と比較して減少した理由は何か。公共下水道事業会計浄化センターともべの汚水処理施設の増設に係る基本設計スケジュールについて。など
「消防本部」	市内における消火栓の設置場所について。

3日間にわたり執行部との間で活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、すべての会計を原案のとおり可決しました。

定例会最終日（3月14日）の本会議で、西山委員長が審査結果を報告し、採決の結果、平成30年度のすべての予算を可決しました。

【予算特別委員会】

委員長	西山	猛
副委員長	田村	泰之
委員	小松崎	均
委員	菅井	信
委員	畑岡	洋二
委員	野口	圓
委員	石松	俊雄
委員	萩原	瑞子
委員	大関	久義

平成30年度会計別予算の状況（千円、%）

会計名	予算額	前年度比較増減率
一般会計	29,550,000	▲4.5
特別会計	国民健康保険特別会計	8,234,000 ▲19.5
	後期高齢者医療特別会計	805,000 8.3
	介護保険特別会計	6,381,000 2.1
	介護サービス事業特別会計	18,000 ▲6.3
	農業集落排水事業特別会計	774,000 2.8
企業会計	病院事業会計	852,617 ▲60.3
	水道事業会計	2,299,912 ▲4.8
	工業用水道事業会計	28,915 ▲0.7
	公共下水道事業特別会計	3,670,532 —
合計	52,613,976	▲6.2